



Gikai



※表紙説明は裏面にあります。

- 平成30年度決算 … 2
- 定例会報告 … 8
- 委員会レポート … 10
- 一般質問は13人が登壇 … 14

葉山町議会



「ばす挑戦の年」に

課題



旧役場跡地の土地利用
「住民を交えた検討を」



町道下山口上山口線の拡幅を
「安心安全な生活道路を
確保してほしい」



投票環境の整備
「駐車場やバリアフリー化を
してほしい」



町民いこいの家に湯沸かし器を
「冬場の食器洗いはつらい」



公共施設に再生可能エネルギーを
「環境に配慮したまちづくりに」

葉山小学校体育館

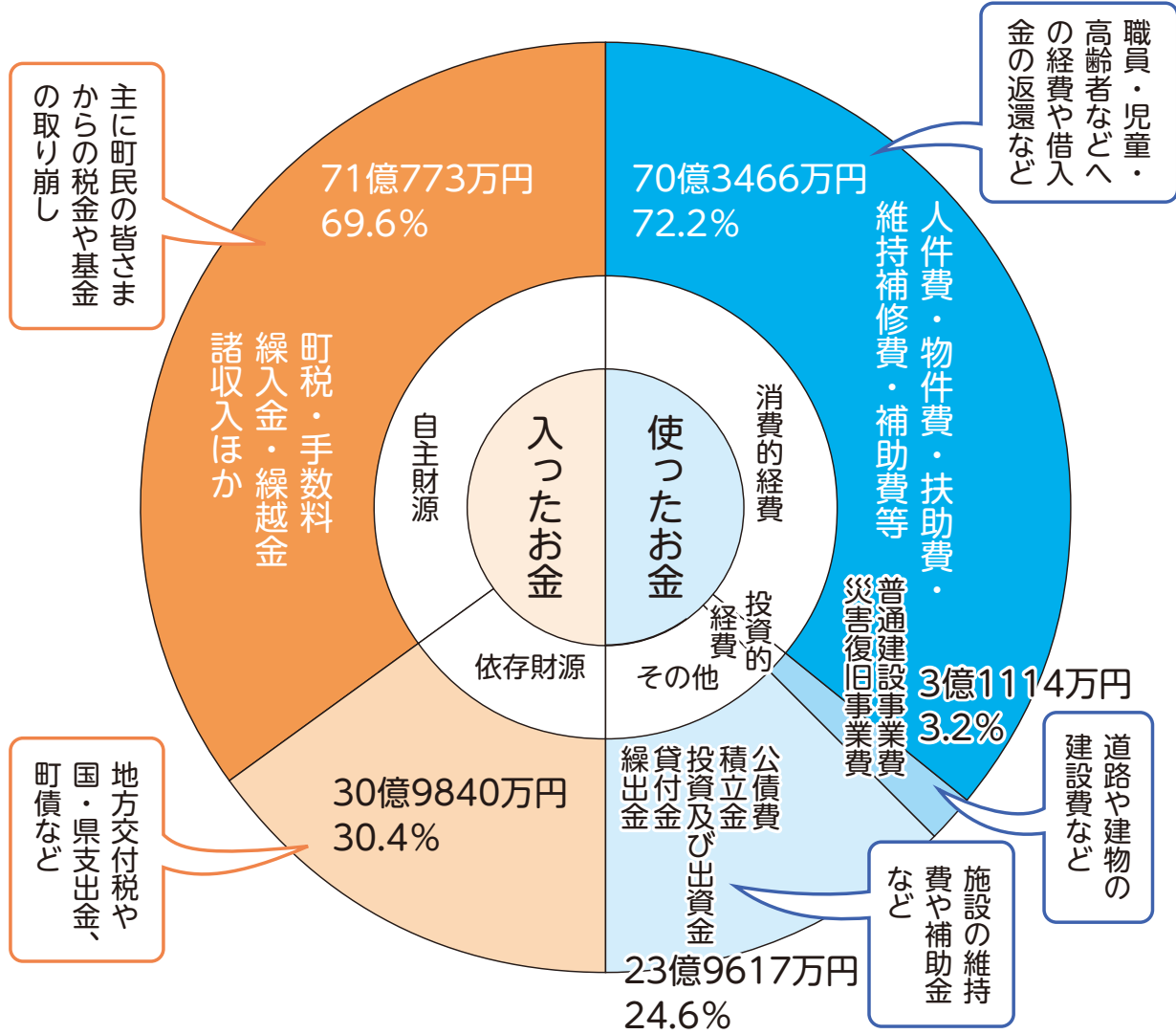
平成30年度決算を認定

「葉山の強みを伸

評価



一般会計歳出97億4197万円 (前年比マイナス1.3%)



●基金残高 (町の貯金)

財政調整基金	7億9630万円
公共公益施設整備基金	13億3584万円
ふるさと葉山みどり基金	8762万円
教育基金	1000万円
国民健康保険事業運営基金	1億2028万円
介護保険給付費支払基金	2億7795万円
合計	26億2799万円

●会計別歳出決算額

特別会計	国民健康保険	36億4091万円
	後期高齢者医療	9億4548万円
	介護保険	27億7943万円
合計		73億6582万円
下水道事業会計	収益的支出	12億9191万円
	資本的支出	10億44万円
合計		22億9235万円

●町債残高 (町の借金)

一般会計	57億6467万円
下水道事業会計	70億1712万円
合計	127億8179万円

飯山直樹委員長のもと、笠原俊一副委員長、伊藤航平、山田由美、鈴木道子、窪田美樹の各委員が審査を行い、一般会計、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計は全会一致で、後期高齢者医療特別会計及び下水道事業会計は賛成多数で認定しました。

決算特別委員会 審査報告

※詳細は町ホームページ「財政・財産」からご覧いただけます。



町長・教育長 質問

草津温泉バスツアーの継続を

答 いくつかの課題があり、検討の時間が必要だ。

問 2年度予算に向けて早期の決断を。

答 開催時期も含めて事業を進める。

問 草津町噴火災害の応援で始めた宿泊助成金拡充は、



草津温泉バスツアー

特別会の
決算委員
会の
動画



答 3年目になるが、継続したい。

旧役場跡地の 土地利用は

答 町有地の活用を検討し、たたき台をまとめた。

問 課題として認識し、住民も交えた検討を。

答 公共施設の説明や案内の中で意見をいただき、位置づけも明らかにすべきと考える。

修学旅行の日程は

課業日に

答 一筋縄では行かない問

題で校長会にこの問題提起を行う。

問 葉山中学校修学旅行が週末日に割り振られており、参加が難しい生徒が出てくる現状に、通常の課業日に実施するのが望ましいが。

答 現状の仕組みの中では、苦渋の選択をせざるを得ない。短期的にこの問題を解消することが難しい。

地球温暖化対策の 拡充を

答 補助額増より、環境配慮型支援やはやまクリーンプログラム等、自治体としてできることを考えていく。

問 庁舎に再生可能エネルギーをつかった電力会社への転換は。

答 コスト増の可能性はあ



エコ材質ののぼり

るが、検討できると思う。

問 公共施設に太陽光パネル等の設置は。

答 新規施設には検討すべき課題だ。

風しん予防接種 無償化を

答 任意接種であり難しい。

問 接種率向上に、他自治体と比べ低い補助額の拡充を。

答 国に要望していきたい。

町道下山口上山口線の 拡幅を

答 積極的には動いていない。

問 通学路で、住民増もあり危険が増えた。拡幅に向けて積極的に動くべきだが。

答 箇所の指定があれば、改良工事を行っていく。

問 莫大な経費や個人財産の問題があり

難しいのはわかるが、計画が必要では。

答 給食センターやクリーンセンター、公共施設再整備など、何十億という経費が見込まれている。今後の課題にする。

合併処理浄化槽 補助拡充を

答 補助率を上げて目標には届かなかった。

問 2年度から国の補助制度が拡充されるが、補助の変更をするのか。

答 早々に制度改正の導入、周知し、事業の推進を図る。



生活排水を海や川に流さないで

一般社団法人全国浄化槽団体連合会ウェブサイトより

決／算／審／議／総／括

5人が質問しました



金崎ひさ



窪田美樹



中村和雄



近藤昇一



待寺真司

人を育てる

教育環境の整備

金崎 教育費は不用額6千万円。その額でトイレ改修などができたのでは。

教育長 全面的改修は建物全体の見通しを抜きにしてやれない。

金崎 学校統合を水面下で話し合っているのか。

教育長 職員間の統合的な話し合いは始まった。

中村 これまで長い間、小中学校のトイレや施設の傷

整備等を優先してきた。

高齢者福祉

窪田 貯筋体操ポイント制導入など補正予算を組むほど好評で、今後は。

部長 貯筋測定など、予防事業に力を入れていく。

窪田 京急

ふれあいパス購入費補助の拡充は。

町長 見定めて考える。



子育て支援

みが放置されてきたが、その理由・原因は何か。

教育長 校舎の耐震化工事、グラウンド整備、エアコン

金崎 町立保育園の事故処理については。

町長 終了していない。

姉妹都市交流

窪田 草津町温泉バスツアーは今後

も継続を。
町長 努力したい。

暮らしを守る

災害対策

窪田 防災無線も聞こえない、ホームページも見れない方への情報発信は。

部長 停電地域には広報車が回った。高齢者へは介護事業者や民生委員にも対応をお願いした。

窪田 洪水浸水想定区域が改訂され、住民周知を。

部長 広報に努める。

待寺 台風等の影響で公共施設が長期の停電になる恐れが増した。非常電源の対策等、町の安全管理責任者

国民健康保険

としての考えを。
町長 電気だけでなく、さまざまなインフラについて議論し、もう一度想定を超えたものを見直さなければいけないと思う。

金崎 国民健康保険料値下げの見直しは。

部長 平準化の努力をする。

近藤 国民健康保険の短期証が期間内に本人に渡らなかつた件数は。

部長 短期証の発行は188件で、まだ渡せていないのが67世帯、103人いる。

今回、更新時期なので、簡易書留で全ての方に送り、期限を3カ月から6カ月に延長した。



葉山中学校屋上



町の被害状況

保険料軽減策

待寺 保険関連3事業において、消費増税を受けて低所得者や多子家庭への町独自の施策を、2年度に向け考えるべきだが。

町長 全体の保険料を下げることに関し、力を入れており、福祉的な要素を強める配分については議論のひとつにのせていく。

下水道事業

近藤 公共下水道真名瀬泊

活力を創造する

民泊事業

窪田 葉山らしい民泊への取り組みとして、苦情受付など窓口が必要では。

町長 事業者も協力的です。スムーズに始まっている。苦

ンプ場の非常用電源は、津波や高波対策で高所に設置すべきでは。

部長 電源だけでなくポンプが稼働しなければならぬ。施設の設置場所に課題がある。

合併浄化槽

金崎 合併処理浄化槽補助事業の今後の対応は。

部長 周知を徹底する。

金崎 下水道事業10年概成の完了見通しは。

町長 工事進捗の課題はありますが前倒しで進めたい。

みんなで作る

行政運営

近藤 いくつかの事務処理のミス、職員の不祥事が起きた。町長の責任は。

町長 多方面において起きたミスが重なった年だ。申しわけない気持ちと、反省し改善に注力する。

近藤 副町長が空席と関係があるのでは。

町長 全く無関係とはいえない。厳しく行政事務の統括ができる人を置くため、引続き力を入れる。

金崎 30年度の感想は。

町長 反省点は事務ミスが重なったこと。

教育長 次の年に向けての準備期間であった。

財政運営

中村 今後財政の逼迫が予測される中、真に必要な町



ふるさと納税返礼品

及び考え方を伺う。

町長 横ばいの財政運営で安堵している。基金の積み増しができて、来るべき大規模事業に安心感が得られた。現年課税収納率が99%中ごろまで伸び、町民の協力により、良い結論が出せた。

金崎 「稼ぐ行政」とは。

町長 ふるさと納税と黒字化を図りたい。

機構改革

窪田 1階ロウカウンター化が好評だ。他の階は。

部長 声があれば、職員検討会等を立ち上げたい。



ローカウンター化された役場

情は丁寧に対応したい。



民泊許可証

第 3 回
定 例 会

一般会計補正予算は

3億8136万円を増額

幼児教育・保育 無償化へ

補正
予算

1億2131万円を計上

年度途中に、「当初予算」を補う形で組まれる予算。

9月5日から10月9日まで開催され、平成30年度決算、令和元年度補正予算、条例改正等の審議を行いました。



主な質疑

問 無償化は国の方針だが、全員無償化になるのか。

福祉部長 施設に入っている3から5歳は無償。0から2歳は非課税の方は対象だ。保育を必要としない、家庭で教育ができる状況で行く施設(幼稚園類似型等)、0から2歳までの非課税世帯以外は対象にならない。

問 葉山町では幼稚園類似型に通う子どもはどれくらいいるか。

福祉部長 50人前後になる。

問 令和元年度は国から100%お金が出るが、2年度からの葉山町の負担はいくらか。消費税増税分が確実に入るのか。

福祉部長 5千万円から6千万円程度が町の純粋な負担増になる。財政課とも検討したが、今の時点で精査できていない状況だ。

問 将来的にも葉山保育園を維持していく覚悟があるのか。

町長 セーフティネットの一環、公共の保育園の維持は民間に担えない保育ニーズを満たすために公立で持ち続ける。

問 幼稚園就園奨励金は継続するのか。

福祉部長 継続する。

問 幼稚園補助事業は継続するのか。

教育部長 幼稚園運営費の補助金については、従来どおり行っていく。



令和元年度葉山町一般会
計補正予算(第4号)

歳入
普通交付税

(8336万円)

高齢者保健福祉費や公債費等に係る基準財政需要額が、基準財政収入額を上回ったことに伴う増額。

歳出
改元奉祝実行委員会補助金

(390万円)

南郷上ノ山公園の東屋整備費に対する補助金の増額。



植樹の様子

主な質疑

問 東屋に水道設備は設けないのか。

政策財政部長 水道工事は予定していない。

問 公共トイレを一気にリフレッシュする機会ではないか。
町長 啓発とメンテナンスの必要性も考えている。

基金積立金 (3億9千万円)

決算剰余金の確定に伴い、その一部を財政調整基金及び公共公益施設整備基金に積み立て。

主な質疑

問 財政調整基金の基準として町長の認識している金額は。

町長 最低でも5億円は持っておきたい。

問 8億円という額は町民に対して仕事をしていないというわけではないのか。目標額を決める気はあるのか。

町長 ピークでは1億円台まで減ることが見込まれる、公共施設を中心に福祉・扶助費の増大を見据えると現行の数字でも足りるのかと思う。

消防車両整備事業

(2038万円)

消防団第4分団ポンプ車が無償貸与されるため、不要となった車両購入費等の減額。

主な質疑

問 消防団第4分団ポンプ車

無償貸与車両の性能は当初予定の物と違いはあるのか。

消防長 積載品は同一のもの。救助資機材(カッター・コンクリート破碎器具)をプラスしている。



消防団のポンプ車

住民情報システム管理費

(1078万円)

法改正によるシステム改修経費として神奈川県町村情報システム共同事業負担金。

教育支援センター整備事業

(4589万円)

教育支援センター移転に伴

う上山口小学校校舎改修等に
係る経費。

主な質疑

問 教育支援センター移転は、
校舎の老朽化や児童の通学・
授業に問題はないか。外階段

での車椅子等バリアフリー化
は。車寄せスペースの塀や、
目隠しフェンスの設置などの
対応は。更衣室がないのはな
ぜか。

教育部長 学校とも十分協議
を行う。

教育部長 日常通っている児童
と接触しない動線を確保した
上で通学する。
更衣室はない。臨機応変に
対応してもらおう。根本的に大
規模修繕や建て替えの計画を
作っていく流れ、FM会議
(みんなの公共施設未来プロ
ジェクト)の中で図っていき
たい。

反対討論



近藤

・幼保無償化について、保育
の質の確保、保育士不足、

処遇改善、認可外保育施設
の指導監督強化の実効性が
不透明である。葉山町の給
食費は無償ではない。減税
対象から外れる部分につい
て、負担がある。

・教育支援センターが一時的
な緊急避難の場としての金
額としては高額過ぎる。永
久的に使え場所を検討す
るべき。



上山口小学校旧校舎

葉山町教育・保育給付に
係る利用者負担額に関する
条例及び葉山町特定教
育・保育施設及び特定地
域型保育事業の運営に関
する基準を定める条例の
一部を改正する条例

基準の改正に伴い所要の改
正を行う。

主な質疑

問 事務の複雑化は。

部長 負担は増える。

問 副食費滞納の対応は。

部長 主食代と同じように、園ごとに対応をお願いする。

問 幼稚園類似施設への対応は。

町長 非常に難しく、慎重にならざるを得ない。

問 認可外保育に補助を拡大した場合の試算は。

部長 年間1500万円強だ。

反対討論



窪田

- ・保育の無償化は消費税の増税分を充てるとしているが、国からの補助は令和元年度のみである。
- ・保育の質の確保に大きな課題が残っている。
- ・閉園に追い込まれる施設があれば、子どもの居場所がなくなってしまう。

京急不動産株式会社による(仮称)葉山町下山口プロジェクト工事現場に



工事現場

において環境基準値を超えたセレン・砒素が検出されている。現場が海水浴場に近接していることから海の汚染を心配するむきもあり、今後検出されるものを含め人体に有害な物質等の適切な処理が住民の健康と安全に重要であることの認識の共有を求めることに関する陳情書

土質調査結果では、国の環境基準値を上回るセレン・砒素が検出されており、これらの物質が自然由来または、人工由来なのか未だ確定されていない。今後検出されるもの

を含め、人体に有害な物質等の適切な処理が、町民の健康と安全に重要であることの認識の共有を求めているものです。(教育民生常任委員会審査し本会議で決定)

委員会審査及び結果

委員の総意として「陳情提出人の『認識の共有』の本意を十分理解できた。町民の健康と安全が重要であり、公害審査会の結果を待つまでもなく、『認識の共有』をさらに深めていくことが大事である」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

本会議賛成討論



土佐

- ・陳情提出人により意見陳述が行われ、一番大切なところは物質が適切に処理されているかというところ。
- ・委員会報告にあるように、認識の共有をさらに深めていくことが大事。

皆さまから寄せられた 請願・陳情 の審査

さまざまな、町の 問題・課題 の改善、対策

委員会レポート

各委員会では、それぞれ課題やテーマを掲げ調査・研究にも取り組んでいます。 Committee report

総務建設

台風15号の対応状況

関東地方に上陸した台風15号の被害状況、および対応状況について、担当課から報告を受けました。

避難所開設のタイミンゲや、町民への情報伝達等、本災害により浮き彫りになった課題に対し検証するとともに、今後の災害対策の教訓として取り組んでいくとことです。

委員長 飯山直樹

地区	停電件数
一色	約300軒
下山口	約100軒
長柄	約3700軒
堀内	約200軒

9月9日の停電状況

教育民生

「幼児教育・保育無償化制度」に関し、国への意見書提出に関する陳情書

幼稚園、保育所、認定子ども園および地域型保育のいずれにも該当せず、地域の幼児教育の機会の確保に重要な役割を果たしている施設の園児も無償化の対象となるように、早急に基準を見直すよう、国に対し意見書の提出を求めているものです。

審査結果

委員の総意として「まずは早急に国の基準の見直しを求めねばならない」との意見でまとまり、全会一致で採択し、意見書を提出すべきとなりました。

2020年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」についての陳情

予算策定にあたり、透析治療への通院困難者対策として



通院支援の継続を求めているものです。

審査結果

「通院支援の継続及び一層の拡充を強く求めるべきである」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

2020年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

予算策定にあたり、透析者・障害者の負担が少なく医療を受けられるよう、重度障害者医療費助成制度の継続を求めているものです。

審査結果

「年々、医療費の個人負担が増すなかで、助成制度の継続及び一層の拡充を求めるべきである。また、年齢制限・所得制限の導入については、他市町の動向をみて慎重に対応すべきである。」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

委員長 鈴木道子

議会広報

議会改革

- ・議会本会議開催の告知を、役場庁舎入口や町内掲示板でのポスターの掲出と、町内会回覧板でのPRについて検討し、来年度より実施予定。
- ・議会白書の作成については、他自治体の動向を調査研究し検討を継続。
- ・「議会だより」アンケートの実施については、内容をさらに検討し来年度以降実施予定。
- ・議会広聴会については、開催内容や対象者の範囲を児童・生徒にも広げ検討中。

行政視察対応

群馬県千代田町議会より「議会広報編集」をテーマにした視察依頼について、受け入れ対応をしました。

委員長 石岡実成

議会運営

議会改革の推進

議会改革について各議員提案は、改革検討29件中、検討終了11件、対応済み6件とし、検討中12件のうち、議場・協議会室の飲料水の持ち込みを、先例申合せに追加決定しました。

その他、葉山町議会議長の任期は申し合わせで2年間としているが、県議会の動向も含め4年間の研究も行う。総括質問のあり方・一般質問日程の検討は予算・決算議会との関連、執行部や各行事予定等も含め多角的な検討が必要とした。

委員長 笠原俊二

ICT化推進チーム

議会改革

- ・スマートフォン等で委員会中継を視聴できるようにすることについて、議会だよりの一般質問欄にQRコードを付け、録画中継とリンクできるようにすることにしています。
- ・既に対応済み。
- ・中継視聴者にもマルチペアリングの資料を見られるようにすることにしています。他自治体の状況や技術的課題等について調査する。
- ・本会議場での傍聴時に、傍聴席でもマルチペアリングの資料が見られるように、モニターを設置することについては、役場玄関への設置も含めモニター3台分の予算や技術的な課題等について調査する。

・本会議場のハウリング対策については、傍聴席に小型スピーカー2台を設置することで速やかに対応する方向で調整する。

リーダー 飯山直樹

令和元年 第3回定例会 表決結果

議案・陳情	議員氏名（議席順）	飯山	中村	伊藤	山田	石岡	金崎	鈴木	荒井	笠原	土佐	窪田	近藤	待寺	伊東	結果	関連記事
		直樹	和雄	航平	由美	美成	ひさ	道子	直彦	俊一	洋子	美樹	昇一	真司	圭介		
議案第15号	令和元年度葉山町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×討論	○	-	可決	P 8
議案第19号	決算の認定について（平成30年度葉山町一般会計歳入歳出決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	P 2
議案第20号	決算の認定について（平成30年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	P 2
議案第21号	決算の認定について（平成30年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	認定	P 2
議案第22号	決算の認定について（平成30年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	P 2
議案第23号	決算の認定について（平成30年度葉山町下水道事業会計決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	認定	P 2
議案第25号	葉山町教育・保育給付に係る…条例 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	可決	P 9
議案第26号	葉山町保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	可決	-
陳情第1-11号	京急不動産株式会社による（仮称）葉山町下山口プロジェクト…陳情書 ※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択	P10

○は賛成 ×は反対

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

※1 葉山町教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例及び葉山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

※2 京急不動産株式会社による（仮称）葉山町下山口プロジェクト工事現場において環境基準値を超えたセレン・砒素が検出されている。現場が海水浴場に近接していることから海の汚染を心配するむきもあり、今後検出されるものを含め人体に有害な物質等の適切な処理が住民の健康と安全に重要であることの認識の共有を求めることに関する陳情書

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第16号	令和元年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	P 8
議案第17号	令和元年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	-
議案第18号	令和元年度葉山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	-
議案第24号	葉山町手数料条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第27号	教育委員会委員の任命について	同意	-
議会議案第1-10号	「幼児教育・保育の無償化制度」に関する意見書	可決	P13
議会議案第1-11号	海洋プラスチックごみの発生抑制・削減を求める意見書	可決	P13
陳情第1-12号	「幼児教育・保育無償化制度」に関し、国への意見書提出に関する陳情書	採択	P11
陳情第1-14号	2020年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」についての陳情	採択	P11
陳情第1-15号	2020年度における「重度障害者医療費助成制度の継続」についての陳情	採択	P11

意見書を提出しました

紙面の都合上要約しています

「幼児教育・保育の無償化制度」に関する意見書

「幼稚園類似施設（幼児教育施設）」は、認可外であっても学校教育法による幼稚園教育の目的をもっており、さまざまな事情を抱えた子どもに対し、一人ひとりに目を行き届かせ、心に寄り添った保育・教育を行う施設である。このような施設に

通う子どもが幼児教育・保育の無償化の対象とならないことは、保護者、施設運営者ともに不公平感と不満を抱かざるを得ない。よって、国においては、制度基準の見直しと対象の拡大について実現されるよう強く要望するものである。

海洋プラスチックごみの発生抑制・削減を求める意見書

海洋プラスチック問題については、海岸漂着物処理推進法改正や閣議決定の第4次循環型社会形成推進基本計画など、取り組みは行われているが、より一層の徹底した努力が必要である。よって、国において、対策を早急に講ずるよう強く要望する。

- 1 容器包装リサイクル法を発生抑制、再利用を重視した内容に早急に改正し、プラスチックボトルを代替品に切りかえることを促進すること。
- 2 海洋ごみの主要な発生源となっている河川に

ついて、国による新たな財政措置を含む発生源対策を確立すること。

- 3 「地域グリーンニューデール基金」のような市町村が迅速かつ機動的に活用できる海洋ごみ対策を推進すること。
- 4 海洋プラスチックごみについて、国際社会と連携してグローバルな視点から発生抑制及び削減に全力を挙げること。
- 5 マイクロプラスチックを含む海洋ごみの量等の実態を把握するための調査をさらに促進し、国民の生命だけではなく、全生命の危機回避の研究を進め、対策を実行すること。



給水スポット

葉山のきれいな海や山を守りたいけど何から始めたらいいだろう。葉山に住んでいる、葉山で働いている私たちだからこそできることを考えてみる。最近ニュースでよく見る「海洋プラスチック問題」。世界では年間約800万トンのプラごみが海に流れ込んでいてこのままだと2050年の海は、魚よりもごみの方が多くなるかもしれないらしい。取り返しがつかないことになる前に、一人ひとりができることから。

今日から始められる一歩

マイボトルを持とう。



HAYAMA CLEAN PROGRAM
町民全員が毎日マイボトルを使うと、年間1200万本のペットボトル削減になります！

「はやまクリーンプログラム」始まりました。

葉山クリーンプログラムがスタートし、葉山町が管理する公共施設の売店・自動販売機からペットボトル飲料の販売が廃止になりました。また、役場1階または3階では、マイボトルに給水できるディスペンサーが設置されています。

今回は、13人の議員がそれぞれの想いで挑みました!!



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取りますと
議会本会議での一般質問の動画を観ることが出来ます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会



問 環境、気候が非常事態にあることを自治体などが宣言し、温暖化対策に取り組み決意を示す「気候非常事態宣言」は、2016年にオーストラリアのデアビン市を皮切りに、世界中約千の自治体が宣言している。184カ国1万5364人の科学者も、人類の生命維持システムに関して警告発表をしているところだ。

人類の活動を原因とする気候変動で劣化する地球環境は、5億4千万年の歴史における第6番目の生物絶滅を引き起こす状況にいた

気候非常事態宣言

町長
情報収集と調査研究をしていく

気候非常事態宣言を
すべきだがどうか

鈴木道子



問 町の森林組合が平成20年3月27日に解散してから、森林所有者との定期的な会合はあるのか。

部長 町としてはその機会は今のところない。

問 森林組合に代わる組織を設置できないか。

町長 機会を捉えて会議体を設ける等の話はしていきたい。

健康散歩道の案内看板

問 健康散歩道の案内看板の設置目的と今後の維持管理は。

部長 平成6年に11カ所に設置している。目

町長
町民に理解が得られるよう
活用する

森林環境税の
使い道は

荒井直彦



町長・教育委員会部局とのガチンコ勝負!!

町政を問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含め60分です。

掲載している内容は、質問者自身が原稿作成をし広報常任委員会が編集校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧頂けます。

一般



部長 管轄の警察が指定の要否を判断する。

問 特に下山口上山口線地域の交通安全策としてゾーン30の指定はどうか。

安心安全対策

部長 設置していく。

問 鹿屋市のような健康遊具設置の要望があるが。

部長 まずは、検診啓発の努力をしていく。

問 当町での実施はどうか。

部長 長野県軽井沢町では10年前から20歳以上の女性に乳がん、子宮頸がん無料検診をしている。当町での実施はどうか。

町民の健康施策

問 近隣と連携も取り、今後情報収集と調査研究をしていく。

町長 意識高揚は大切だ。10月にクリーンプログラムで分かりやすい取り組みを始めた。

問 なるべく宣言するべきだがどうか。

町長 一人ひとりが、できることの取り組みのきっかけになるべく宣言するべきだがどうか。



部長 備えた看板に整理統合できればしていきたい。

問 今この時代に合った看板に変更する方向性で進めていくのか。

部長 業として進めていきたい。

問 あり方を見直して様々な媒体でできるような事業として進めていきたい。

部長 観光案内看板の設置目的と維持管理は。町内10カ所に設置している。

問 もう少し手を加えた方がいいのでは。

部長 6地区それぞれのウォーキングマップを作成しており、より町民に使いやすい物に変えていく。

観光案内看板

問 啓発の新しい方向性はあるか。

部長 6地区それぞれのウォーキングマップを作成しており、より町民に使いやすい物に変えていく。

問 必要で、気軽に歩いてもらう啓発のために設置した。

部長 6地区それぞれのウォーキングマップを作成しており、より町民に使いやすい物に変えていく。



6地区のウォーキングマップ

湘南国際村に
都市計画税を
課税すべきでは

近藤昇一



町長
課税は難しい

町税増収の方策

問 湘南国際村グリーンパークは、当初開発業者が管理していたが、1996年に町に移管され、以来毎年500から700万円の町費が投入されてきた。2007年から5年間、研究施設を持つ第一三共から3千万円の寄付を受け、グリーンパークの管理に充てていたが、その寄付も途絶え、財源確保の議論も行われた。そこで、市街化調整区域を市街化区域に編入して都市計画税を課税したらどうか。

部長 市街化区域編入の考えはない。
問 市街化調整区域は市街化を抑制する地域

体育館に
空調設備を

金崎ひさ



教育部長
必要性が高まっている

学校施策

問 避難所にもなる体育館の設備改善については。
部長 劣化診断を待つ。
問 体育館での部活動で、熱中症で倒れる事例があったが把握しているか。

部長 空調の必要性が高まっている。



体育館の温湿度計

防災専用の
情報発信、
共有手段の
構築は

石岡実成



総務部長
十分に検討する必要がある

災害対策

問 台風15号の教訓を生かし、防災情報の発信や共有を強化するため、専用SNSサイトの開設、或いは、アプリ等の開発は。

部長 十分に検討する必要があると認識している



近隣自治体 SNS と防災専用アプリ



だが、すでに開発されている地域で市街化調整区域のままというのは不自然ではないか。

部長 市街化区域に編入するためにはいくつかの要件が整わないと非常に困難だ。高度な政策的・政治的判断が要求される。

問 市街化調整区域のままでも都市計画税を課税できるが。

部長 都市計画税を課税している地域と均衡を失う場合に課税できる。今のところ考えていない。

問 都市計画税を課税した場合の増収は。

部長 土地・家屋あわせて約2100万円になる。

問 企業に社会的責任を果たさざるべきでは。

町長 市街化には抵抗がある。国際村の整備のため企業に協力を求める議論をしたい。

その他の質問

防災対策 長柄地域の諸問題

問 2年度への予算化は。

部長 議論の中には入る。

中学生・高校生議会

問 中学生・高校生議会に何を求めているのか。

町長 子どもの声を聴くことと発表の場の提供だ。

教育長 議会や町政のしくみに触れること。

問 趣旨に沿った運営がなされているのか。

部長 事前学習に重点をおいている。

問 議場での質疑には原稿があり、現実の議会とはへだたりがあるが。

教育長 中・高校生に期待するのは無理がある。

問 子どもをもっと信頼すべきだ。発表された意見の実現状況は。

部長 図書館の勉強スペースの4分割した机を3台から7台に増設した。

ごみ行政

問 海岸ごみの状況は。

部長 この夏は3割減だ。

問 フェイスブックによると凄まじい現況だが。

町長 そのボランティア活動の方からの提案を形に変えていきたい。

問 ごみ箱の設置は。

部長 市町村振興協会の補助金で有人のエコステーションを設置している。

問 生ごみは資源ステーションに捨てられることを前提に100万円の経費をかけて収集している。海岸ごみを町内に出さないという施策に変えては。

部長 生ごみ量は800kgから270kgに減少している。

る。

問 台風15号での避難所運営・対応について、開設時間や避難方法など、町民より改善を求める声が上がっているが。

部長 体制強化は勿論、しっかりと振り返りを行い今後に生かしたい。

問 消防署、警察署との連携、状況の把握は。

部長 しっかりと出来ているが、停電時の交通情報・発信など、今後は細やかな対応にも努めたい。

地球温暖化対策

問 「第五期葉山町地球温暖化対策実行計画」の結果は。

部長 気候的な影響もあったが、各職員の地道な努力の結果、30年度以上にCO₂の削減ができた。

問 大型で強い台風が当たり前にやってくるような環境変化の中で、更なる温暖化対策を、全町的な姿勢ですべきでは。

部長 環境審議会において、大小さまざまな視点で議論を継続している。6月広報では環境全般にわたる特集を組むことが出来た。今後も総合的な発信等に引き続き研究を重ねて行きたい。

海水浴期間中の駐車場

問 三ヶ岡駐車場前の道路が、一時入場待ちで危険な状態にあったが、ルール化するべきでは。

部長 これを機に、しっかりと検討し、マニュアルを作成していきたい。

逗子での
生ごみ削減は

山田由美

環境部長
議論を交わしている

生ごみ削減

問 葉山では、生ごみの自家処理が増えてきた。共同化に向け、逗子での生ごみ削減の推進は。

部長 議論を交わす。

問 燃えるごみと生ごみの分離収集を行うにあたり、生ごみ専用の



普及してきたキエー口



学校施設の
機能改修は

飯山直樹

教育部長
現行の法令に合わせた改修が必要になる

公共施設の改修

問 学校トイレの改修については、公共施設全体の中で計画的に検討を進めており、良い対応である。現在行われている劣化診断は、基本構造・設備の状況を見極めるためだが、使用可能でも時代にそぐわない付属設備は劣化と判断されず誤解が生じる可能性がある。付属設備であるトイレへの対応は。

部長 業者には所見に含めるよう依頼した。

問 修繕は事後修繕として、壊れた対象に行われるため、使用可能なものは維持管理計画に含まれない。策定する計画には時代のスタ



補聴器購入費の
補助を

窪田美樹

福祉部長
状況を注視したい

高齢者福祉

問 認知症予防に高齢者の軽度難聴者へ、補聴器購入費補助の取り組みを。

部長 国会などでも話があり、状況を注視したい。



補聴器購入費の補助を



有料袋を導入してはどうか。

部長 先進事例を収集し、他の手法も検討する。

災害時の対応

問 医療救護所の開設を逗葉高校でも行えないか。

部長 医療従事者のマンパワーに限りがあるので、難しい。

問 救護所の医療チーム第1班は、12時間で第2班と交替するはずだが、第2班の編成は。

部長 医師会の方で準備していると聞く。

問 停電で浄化センターの機能が低下した場合、下水を直接海に流しては。

部長 水質保全の目的から逸脱することになる。

問 防災無線が聞き取りにくいが。

部長 代替手段の活用を呼びかける。

町有地の墓地

問 町有地の墓地に告知看板を出し、一定期間において町に連絡がない場合、整理統合の対象にしてもよいのではないか。

部長 墓地の現地確認や遺族との連絡等を行った。管理組合とも話し合う。

国民年金

問 無年金や低年金の方を減らすため、付加保険料や国民年金基金も含め積極的に案内しては。

部長 ホームページ等で周知を図っている。

自転車保険

問 10月からの自転車保険加入義務化に向け、児童・生徒の状況は。

部長 南郷中の自転車通学の生徒は98%加入した。

イルに適合するリニューアルも対象として含めるべきでは。

部長 機能面も現行の基準に沿わないものは、今の法令に合わせて改修も必要になる。



時代にそぐわない学校トイレ

ドッグラン

問 南郷公園ドッグランの改修作業で、改修後の土の中に異物が多数混入していたことが、利用者からの指摘で発覚したが。

部長 利用者からの指摘で最終的に3回も入れ替えを行うこととなり、反省している。こまめな現場確認を徹底する。

問 ドッグランへの水道設置への対応は。

部長 利用者からの要望があり、2年度に向けて設置の検討をしている。

高潮対策

問 海岸浸食・海面上昇による高潮への対策は急を要するが。

部長 県の管轄で管理しているが、葉山は現状では危機的な浸食には至っておらず、都度対応している状況。

問 消費税増税で、ふれあいパスが400円上がった。補助額増額し負担軽減を。

部長 町民の負担を抑えるよう、すすめている。

問 中高校生議会で、高齢者とのつながりの質問があった。中学生の声を生かすことで、町全体がつながり合えるのでは。

部長 地域に協議体をつくり、町内会や子ども会なども一緒に地域課題を考えている。

災害に備えた取り組み

問 中高校生議会で「防災訓練で中学生も行動できるプログラムを」と提案がある。実際に参加してもらうことが重要だが。

部長 興味を持ってもらえる仕掛けや案内をした。

問 台風15号で高齢者等避難開始が発令されたが、要援護者への避難対応は。

町長 要援護者に直接連絡はしていないが、町内会や近所で声かけの共助をお願いしている。また停電2日目には福祉課と協議し、電力不足が命の危機に及ぶ方に対応した。

問 鋸南町に支援に行き、災害復旧は発災後からボランティア受け入れまでの初動体制が重要と改めて感じた。葉山はどうか。

部長 情報の集約、依頼など町が根幹となり、行政の公助としての責任と、役割を果たしていく。

SDGsへの取り組み

問 環境に配慮したクリーンプログラムを、どのように発展させるのか。

部長 試行期間も設け、町民にも広げていく。

想定外の災害を
どこまで
想定するのか



土佐洋子



政策財政部長
暴風雨に耐えられるか重視する

災害に強いまちづくり

問 町が気候非常事態宣言することが必要。想定外と言われている災害をどこまで想定するのか。
部長 新たに建てる公共施設について、



台風15号の波が民家に迫る

給食センターは
いつから



笠原俊一



教育長
早期に整備を実現したい

給食センター

問 新聞報道の県内中学校給食状況という記事について、町長と教育長の所感は。
町長 中学校の完全給食を始めたいと発言してから長期間かかり、多くの生徒も卒業されるが大変申しわけない気持ち。まだまだ時間はかかるが、計画のめどが立ち安堵を覚えながら、早急に着手したい気持ちで新聞を拝見した。
教育長 学校給食法の趣旨や全国の実施率からも、大きな社会的要請と認識していた。全国的にも遅れているとされた県内自治体も動きだしたことをこの記事から感じた。

台風被害予防の
ための町民支援を



中村和雄



総務部長
事業の一部を改正する等して
対応していく

災害対策

問 倒木の恐れのある木の伐採や古い屋根の葺き替え、窓などの開口部の補強等を支援する必要がある

<p>葉山町住宅リフォーム資金補助金交付要綱</p> <p>(目的) 第1条 この要綱は、地域経済の活性化及び居住環境の向上を図るため、町内業者による</p> <p>交付す (定義)</p>	<p>葉山町危険木伐採工事費等助成金交付要綱</p> <p>(目的) 第1条 この要綱は、住宅（町民が居住している町内の建物をいう。以下同じ）被害から町民の生命及び財産を保護するため、町内の危険木の伐採、撤去しう者に対し、予算の範囲内で危険木伐採工事費等助成金（以下「助成金」と付するものとし、その交付に関しては、葉山町補助金等交付要綱（昭和454行）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。</p> <p>(定義)</p>
---	---

木の伐採・リフォーム支援の事業

降雨や暴風に耐えられるか重視しなければならない。

問 葉山小学校での防災訓練が中止になった。令和2年はビッグレスキューが開催されるので、防災訓練の実施は。

部長 3年度の実施を考えている。

問 台風接近が大潮回りの満潮のときなど、海抜の低いところで浸水が心配されるが、対応は。

消防長 5個ぐらいの単位で、消防署より土嚢を貸すことができる。

環境への取り組み

問 マイボトルに水を入れることのできる、給水スポットを提案したが。

町長 はやまクリーンプログラムがスタートし、公共施設にウォーターサーバーを設置した。

問 環境省が認定しているリネットジャパンがパソコン等無料回収しているが、町としても提携できないか。

部長 早急、前向きに検討したい。

パートナーシップ制度

問 パートナーシップ制度導入の進捗は。夫婦別姓を選択し、婚姻届を提出できない町民もいる。生きづらさを抱える方々に、優しい町であってほしいと思うが、対応は。

町長 導入を検討している。全ての人が、安心して暮らせるよう、法律相談等の窓口を維持し、研修会や講演会の開催により、町民の生活上の不安解消に努める。

また、完全給食を実施している自治体、実施を予定している自治体では、本町計画のセンター方式が多数であると理解した。可能な限り早期に整備を実現したい。また、県内自治体の早い集団に属せず申しわけなく思う。

問 2021年からは設計との記事や、6月の新聞記事にも整備費は約14億4千万の記載がある。町の大事業として令和2年度当初予算に計上するののか。

部長 スケジュール的には確かにそうだが、国庫補助金の関係があり補正予算で対応する可能性もある。

町長 大きな予算を伴う事業であり、国庫の補助金や場合によっては県など各方面の協力が必要となる。当初予算で仮に挙げられない判断の段階で、予算立てや着工方法などを含め説明の場を設ける。



滋賀県愛荘町給食センター

る。相談窓口の設置や現行事業の改正を行う等、被害予防のため町民の支援を。

部長 町民の相談には担当窓口で応じる。現行事業の一部改正や積極的運用で対応していく。

空家対策

問 空家対策は、情報をいかに早くキャッチして、関係者・関係機関等で情報を共有できるかが鍵だ。逗子市が始めた空き家バンクのような制度を検討してはどうか。

部長 葉山らしい、移住・定住の促進策になるようなものを調査・研究して参りたい。

交通インフラ整備

問 逗子方面に向いている長柄地区の町民が、葉山の自然に触れ、葉山の店で買い物や食事を楽しむことにより、町内でお金が回る仕組みをつくるためにも、交通インフラ整備は大事だ。人口減少によるバス路線の減便・廃止の心配もある。バス路線を公共投資という視点から考える必要があると思うがどうか。

町長 町の今後の存続に向けた大きなテーマ。最終的にはセーフティーネットの機能として割り切らねばならないときが来るかなと思っているが、その前に、京急ストアさんのような民間の力の活用や、神奈川県が主導する、交通支援策の取り組みを視野に入れながら検討していきたい。

自然災害対策は

待寺真司



町長
ハザードマップで
地域の危険性を周知している

安全安心のまちづくり

問 自然災害対策は。

町長 ソフト面では、土砂災害・洪水ハザードマップで地域の危険性の周知を図り、身を守るための知識や防災意識の普及啓発などを行っている。

教育長 各校で作成した地震・風水害に対応する防災計画に基づき、避難経路の確認や防災設備等の定期的な点検を行うとともに、災害発生時の対応について保護者への周知を年度初めに行っている。

問 防災情報メールへの登録を促す取り組みを。

中学校における
探究学習の推進は

伊藤航平



教育長
総合的な学習の中で職場体験や
進路学習を通じて行っている

教育政策

問 課外活動も教育委員会はもつと積極的に推し進めるべきでは。

教育長 両中学校では、総合的な学習の時間の

中で、地域



学生ボランティア定例会の様子

町長行政報告

● 9月8日から9日にかけて接近・上陸した台風15号の影響により、町内の広域にわたり停電が発生しました。8日夜は町内小中学校の6カ所を、9日夜は福祉文化会館、図書館、元町児童館及び芝崎児童館の4カ所を、10日は日中に福祉文化会館、夜に福祉文化会館及び図書館の2カ所を避難所として開設し対応しました。

また、停電の影響で葉山浄化センターの処理能力が低下したため、10日の午前中から午後にかけて節水のご協力を仰ぐこともありました。その後、処理能力は回復しました。町民の皆様には大変なご不便、ご苦労があったことと思いますが、10日9時5分、ようやく3日ぶりに全町で電力回復との連絡を東京電力から受けました。

町役場においては、台風に対する防災体制から停電に対する危機管理体制へとシフトし、全庁的に対応してまいりましたが、町内会、民生委員、介護事業者、各関係機関の方々のご協力により、支援の必要な方へ対応することができました。

今回得られた課題や改善策を取りまとめ、停電対応を主とした危機管理体制の強化を、東京電力を交えて図っていきます。

● 台風15号の影響による本町の被害状況につきましては、9月27日の総務建設常任委員会において、第一報として概略のみご説明しま

部長 防災行政無線の限界、弱点を補う代替手段として貴重なツールだ。約6千人程度の登録なので、粘り強く働き掛ける。

問 平成30年度策定した下水道事業のBCP（事業継続計画）は、今回の非常事態を受けて再点検する必要があると思うが。

部長 大規模地震と津波を対象リスクとして策定した。今回の停電対応や風水害にも対応できるようにリメイクを図りたい。

問 災害対策に大変重要な無電柱化の取り組みを早急に行う時期だが。

町長 一番期待しているのは、国が規制緩和について大きく舵を切ることだ。県へも早期に計画に入れていただき、指定され次第、町の計画を作る。無電柱化を進める方針だ。

問 交通安全対策推進に向けた取り組みは。
町長 高齢者運転の事故防止や、免許の自主返納を呼び掛けている。また危険箇所を選定し必要に応じて、交差点や横断歩道等の対策を図っている。



ハザードマップを確認

の教育支援や人材を生かし主体的に取り組んでいる。

問 学校の統廃合や学習センター、コミュニティスペースの設置など、今後の進め方は。

教育長 非常に答えづらい大きな問題。地域活動の拠点であることや、ハード面の施設設備の耐用期限と教育内容の充実をドッキングして進めて行かなくてはならない。

公共施設

問 公共工事の町内業者への発注強化は。

町長 規模等に応じて入札参加資格に地域要件を定めるなど、可能な限り地元業者が受注機会を得られるように努める。

問 稼ぐ行政の方法として公共施設等テナント貸し、ネーミングライツは。

町長 稼働調査・劣化診断を踏まえて研究する。歳入メリットと歳出デメリット・占用対応等もある。提案があれば検討する。

自転車利用の促進

問 交通事故防止で、自転車通行帯の設置は。
町長 地域の現状に即した交通事故防止対策を検討する。

問 育児応援で、電動アシスト自転車購入補助金は。

町長 実施については検討する状況にない。

部長 現状、自転車を普及させてはいない、交通安全策と合わせて考える。

問 道路に進行方向の矢印を付けて欲しいが。
部長 警察・道路管理者と協議して検討する。

したが、町道への土砂流入や倒木、学校敷地内のフェンス倒壊、公園内の倒木等の復旧に要する経費につきました。町民生活や行政サービスの支障を来たさぬよう、迅速に対応する必要があります。お、今回の予備費対応相分については、後日、財政調整基金を取り崩す予定であります。次に、10月2日に神奈川県災害対策課より、千葉県南房総市への住家被害認定の応援職員派遣について依頼がありました。本町の対応としては、10月10日及び11日に、消防士、技師等の3人を一組として2日間で延べ6人の職員を南房総市に派遣することを決定しました。

職員派遣は、被災自治体の業務支援はもとより、次の災害に備え本町の防災対策の強化を図るうえで意義あるものと考えております。



真名瀬海岸の被害状況

表紙説明

10月20日、清々しい秋晴れの中、南郷上ノ山公園にて、改元記念として公園内ドックランエリア付近に建立された東屋『梓亭』のお披露目式が行われました。また、天皇陛下のお印の梓、上皇様お印の桐も植樹されました。

梓亭は、総ヒノキ造りの六角形構造で、屋根は銅ぶき。1994年の天皇陛下御成婚の際に、しおさい公園に建てられた東屋と同じ形で直径は約6m、高さは約5m。



除幕式をお手伝いしてくれたあけの星幼稚園の園児



改元記念奉祝コンサートで葉山町歌の大合唱



公園内に、日よけや雨よけになる休憩所が欲しいという町民の要望を受け建てられました。
また、22日には、葉山町福祉文化会館にて、改元記念式典並びに奉祝コンサートが開催されました。
葉山祝祭管弦楽団の素晴らしいオーケストラで歌う町歌も、いつも以上に素敵なものでした。

議会を傍聴しませんか？

次回第4回定例会は**11/28-12/13**の予定です

議案審議

11/28(木)
12/12(木)

一般質問

11/28(木)
11/29(金)
12/2(月)

各常任委員会

12/3(火)
12/4(水)
12/5(木)
12/6(金)

ライブだからわかる…
緊張感や臨場感があります。

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また一般質問は、質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会本会議のライブ中継が、パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでも視聴できるようになりました!!

今まで、Windows Media player でしか視聴できなかった議会本会議のライブ映像・録画動画が、いつでも、どこでも観れるようになりました。この機会に、是非、一度ご覧になってください。



議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

この5月に議員に就任して以来、2度目の議会だよりの編集です。議会広報常任委員会の一員として編集に携わって驚いたのは、議会事務局の手助けを一部受けながらではありますが、原稿の作成、レイアウトの工夫、校正など、編集・作成作業のほとんどを議員がやっていたことでした。

また、委員長をはじめ各委員が「どうしたら町民の皆さんに読んでもらえるか」に心をくわいていることを知りました。

今号の「議会だより」はいかがだったでしょうか。町民の皆さんに読んで欲しいという委員の思いを感じとっていただけなら幸いです。

情報の公開と共有は、町民本位の町政の実現にとって、基盤ともいえるべき大事なことを考えています。さらに読みやすく、内容の充実を目指して参ります。

11月1日 中村 和雄 記

議長 伊東 圭介

議会広報常任委員会

石岡 実成 伊藤 航平
中村 和雄 荒井 直彦
笠原 俊一 土佐 洋子
窪田 美樹

●お詫び 議会だより 137号において、数カ所の誤字や句読点、括弧の配置ミスなどがありました。見苦しい点があったことを深くお詫び申し上げます。今後、同じような間違いがないように編集作業に努めてまいります。